

# Structure Kansai No.142 2019.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

## 2019年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会 5月22日開催



構造デザイン発表会



支部総会



上田支部長の挨拶



関西支部 支部長

「天の時・地の利・人の和」  
榊竹中工務店  
上田 博之



関西支部 副支部長

「再任のご挨拶」  
有桃李舎  
榊田 洋子



関西支部 副支部長

「ご挨拶の代わりに」  
株日建設計  
田代 靖彦

支部長という大役を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

令和元年の就任にあたり、昭和の終わりに誕生した構造家懇談会が、平成の時代にJSCAとして成長を遂げた、その歴史を会史で振り返りました。

そこには諸先輩方の並々ならぬ苦勞と共に、「天の時・地の利・人の和」これらが揃えば必ず上手くいくという、自らを鼓舞するような言葉が記されていて、強く私の心に残りました。

祝賀ムードで始まった令和という新時代、万博やIRに沸きそうな関西という場所、あとは技術的・心情的な支部会員同士の強固な連携ではないでしょうか。

有言不実行極まりないのですが、私は自分の周りの全ての人やモノから謙虚に学ぶことを自らに言い聞かせるため、作家吉川英治が好んだ「我以外皆我師」という言葉を座右の銘にしています。

諸先輩方が築かれた大切なJSCA関西をほんの少しでも成長させられるよう、支部会員の皆さまの声に謙虚に耳を傾け、和の醸成に向けて精いっぱい努めます。ご支援よろしくお願いいたします。

この三役は1期2年で改選されます。運営を円滑に継続するために、総入れ替を回避したいという上田支部長の意向があり、もう1期、副支部長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

JSCA関西の前身である構造家懇談会の事務局は、今は無き川崎建築構造研究所内にありました。私はそこで修行をしていたので草創期を見ている。事務局に出入りされていた当時の役員の方々は長老のように見えていましたが、考えてみると、今の私はその方々の年齢を超えました。しっかりせねばと思います。

先日、JSCA関西支部の総会の後に開催された構造デザイン発表会は10作品の発表と約250名の参加者があり、過去最高の盛り上がりを見せました。各委員会や分科会の活動も活発です。関西支部は成長期を過ぎ、新しい時代を迎えて全盛期に入ったと感じます。上田さんと田代さんは正義感が強く、静かな情熱を秘めた方々。三人で力を合わせて支部の運営に尽力します。より良い運営のために、会員の皆さまからもご意見やアイデアをお寄せ下さい。ご協力をお願い致します。

この度、上田新支部長からお声掛け頂き、副支部長役を務めさせて頂くことになりました。よろしくお願い致します。

私は長崎県佐世保市に生まれ長崎市で育ち大学期間関東に出て平成元年に構造設計の道に入りました。数年後に転勤で大阪。入社後約10年の世紀替時期にJSCAの仲間に入れて頂きました。入会後間もなく関西支部広報委員会に参画し、以来長年在籍しています。2012～2015年には関西支部機関委員会になる前の大震研WGI活動に参加しておりました。

関西支部は風通しが良く、ある目標に向けての活力の集中と連帯感・協調力が素晴らしいと感じています。平成前半に未曾有の天災インパクトに遭遇するという強烈な共通体験を持ち、それぞれの大困難を乗り越えて来たという確かな・静かな一体感が根底にあるものと思います。

なんといっても関西は我が国発祥の地。歴史や文化の重厚感や人々の朗らかさも心地よく、今では長崎を超える大好きな故郷の地となりました。天・地・人の気は満ちてきていると予感します。関西の令和の歴史を皆さんで紡いで参りましょう。

■JSCA関西構造デザイン発表会2019

優秀賞紹介

「構造体を見せる」  
をテーマとした  
中学校の構造計画  
「瑞浪北中学校」  
（株）日建設計  
正田 崇貴



1.はじめに

本建物は、岐阜県 瑞浪市内にある三校を統合して新築される中学校である。文科省のスーパーエコスクール実証事業に認定された学校であり、ZEBを達成するため、様々な環境配慮技術を導入している。また、それらの技術を学生達が触れたり、感じられたりできる工夫も行っている。構造体についても、環境技術と同様、「見える化・感じる化」を図ることが条件であったため、「いかに構造体を見せるか」というコンセプトのもと、構造計画を行った。

2.構造計画：下部RC躯体

- ・外観、内観ともに構造体を見せたい。
  - ・山の斜面に建てられるため、できる限り、建物高さを低くしたい。
- 等の意匠要望があった。

それらを満足させるため、まず、図1に示すように、教室エリアの床をワンプレートのアンボンドスラブで構築することにより、建物高さを低くしつつ、十分な天井高さを確保した。

また、外壁面においては、アンボンドスラブと細柱群（スラブ厚と同一の見付け幅）を組み合わせることにより、格子状のファサードを形成し、構造体そのまま外観デザインになるように計画した。なお、細柱群のピッチは、教室の間口8mを3等分した値になっており、屋根を構成する木部材も同一のピッチで架け渡している（図2参照）。

3.構造計画：木屋根

- ・屋根端部の厚みをできる限り薄くしたい。
- ・接合部の金物や埋木を極力見せない。といった要望があった。木部材には、ピン支持となる端部にかけて梁成が小さくなるようなテーパ加工を行った。また切断面において、ラミナの強度が同一になるよう、同一等級構成の集成材を採用した。横架材と束材の接合部には、ドリフトピン等は用いず、内蔵した長尺のラ

グスクリューボルトで緊結した。木部材とRC躯体の接合部には、スタッドボルト付きのベースプレートをRC躯体に埋め込み、アンカーボルトを一切見せない接合部とした。



写真1 外観：教室部



写真2 内観：教室部

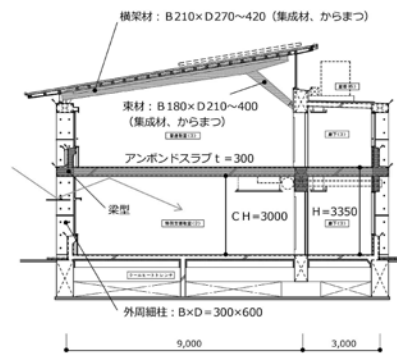


図1 教室部架構計画1

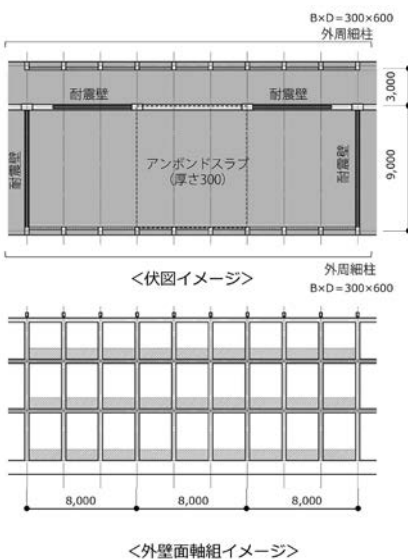


図2 教室部架構計画2

■JSCA関西構造デザイン発表会2019

優秀賞紹介

RM造（鉄筋コンクリート組積造）を用いた社員寮の構造デザイン  
「アサヒファシリティズ  
蛍池社宅 楓」  
（株）竹中工務店  
河合 智樹



1.はじめに

本建物は、30戸を有する3階建ての社員寮である。親しみやすい外観、建物の規模感や平面計画との関係性、住宅地の狭小な敷地における作業スペース抑制や騒音への配慮といった事項を踏まえて、その構造にRM造（鉄筋コンクリート組積造）を採用した。[写真1]

RMは、Reinforced Masonry の略語であり、RM造はRC造と組積造を組み合わせた特徴を有する。工場生産の規格化されたコンクリート外皮（以下、RMブロック）の人力組積と鉄筋の配置を繰り返した後、コンクリートを打設する。[写真2] この一連の流れを基本手順とし、一体化したRMブロックは耐震壁として設計することができる。本建物では、RM造の特徴を引き立たせるような構造デザインを行ったので、本稿にて紹介する。

2.設備開口のパターン化

今回は、計画に合わせて幅600×高さ150×奥行240という規格寸法のRMブロックを採用した。壁に設けられる設備開口の1つ1つが、規格に合ったものとするために、設計の早期の段階で設備担当者とは協業して、設備開口のパターン化を行った。RMブロックの一部分の切り欠きや、1ブロック抜きといったルールを決定することにより、施工的にもシンプルな方法で、RM造の壁に馴染んだデザインとすることができた。[写真3]

3.片持ち壁梁による大開口

寮室と外部をつなぐ窓に開放性を持たせるために、寮室部の構造壁の端部を片持ちの壁梁として設計し、大開口とした。



写真1 竣工写真

また、壁梁レベルを各フロアレベルより高く設定することで、腰掛けて使えるようにするなど、空間を効率的に利用する工夫を取り入れた。元々は独立した部材であるRMブロックを片持ちとすることで、浮遊感も演出している。[写真4]

#### 4. RMブロックとの接続に配慮した床版のデザイン

RM造の壁はRMブロックの組積により構成されるが、床版はRC在来による。寮室内のRMブロック壁は天井や断熱材で被覆される一方、外部についてはその全てが現しとなるため、その2工法の境界部の見え方に配慮したデザインとした。見上げた時には床版の下端レベルが、見下ろした時には仕上げの上端レベルが、RMブロックの150mmの高さのリズムに合致するように配筋納まり等を決定した。同時に、FEM解析を活用して、各フロアを1枚の連続した床版として設計することで、RM造の水平ラインが強調されるようにした。[写真5]

#### 5. まとめ

RM造は、通常の壁式RC造と異なり、RMブロックの規格寸法を意識して設計を行う必要があるが、それを制約ではなく、プラスの意匠要素と捉えることによって、統一感や繊細さを効果的に表現するデザインを実現することができた。



写真2 RM造施工風景



写真3 設備開口 写真4 寮室の大開口



写真5 床版のデザイン

### ■JSCA関西構造デザイン発表会2019 優秀賞の紹介 2辺が宙に浮いた 建築物の構造デザイン 「三浦工業株式会社 本社ショールーム」 ㈱竹中工務店 岩本 卓麻



#### 1. はじめに

本建物は、2階建ての鉄骨造で、約20m×約20mの整形な平面形状である。本建物の最大の特徴は、1階の直交する2辺が宙に浮いた架構形態である(写真1)。1階・2階共に内部は無柱であり、宙に浮いていない2辺のみに柱を設けている。まるで水面上に浮き上がっているように見えることから、これをフローティングキューブ架構と呼んでいる。

#### 2. 構造計画

架構の平面図を図1に示す。跳出しの控えは、直交方向にしか設けられないが、立体的な跳出しに対して立体的な控えを形成する架構計画とした。

控えの角部には搬入口があるため、柱を設けることはできない。そのため、図2に示す



図1 竣工時外観写真

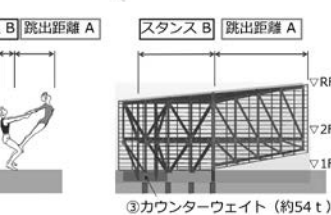
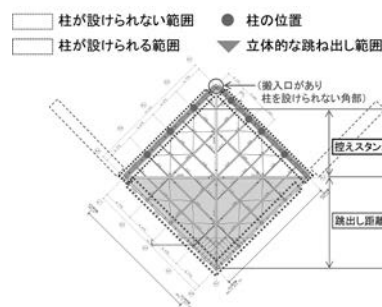


図2 平面形状・立面形状

跳ね出し距離Aに対して、スタンスBが短い。この特殊なデザインを実現するために考えた構造的な工夫を以下に示す。

#### 3. 構造的な工夫

①斜材の向きは長期引張力が作用する向きに統一した。②跳出し方向に直交する対角門型フレームを設け、その頂部を支点としたキャンチレバーで跳出し先端部を吊り上げる効果を期待した。③長期・地震時を含めて転倒に対する高い安全性を確保するため、控え側の基礎に約52tのカウンターウェイトと引抜き抵抗杭を設けた。④本架構は門型フレームの足元部分が極短柱となり大きな断面力が作用するので、高強度鋼を用いたCFT柱を採用しシャープなデザインを実現した。

#### 4. 施工時の工夫

施工時には、跳出し部を仮設支柱で支持した状態で建方し、2階スラブ打設後にジャッキダウンした(図4)。先端の下がり量(鉛直変位量)は解析値と良い対応を示した。また、2階レベルの大梁にむくりを与えるため、大梁の継手部を利用し図5のようにファイラプレートを継手の左右で上下互い違いに挟むことにより、段階的に所定のレベルを付与した(特許出願中)。

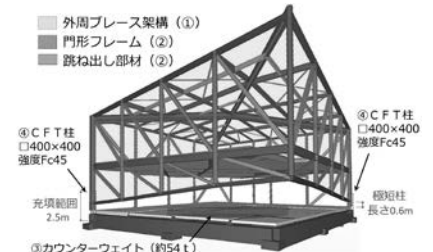


図3 構造的な工夫



図4 内観写真(ジャッキダウン後)

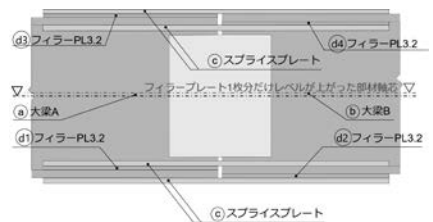


図5 むくりの付与要領

## 「金属系拡大分科会」溶接体験実習でさまざまな溶接を体験しました



株式会社大林組  
三井 達雄

2019年3月6日に開催された金属系拡大分科会の溶接体験実習に参加しました。場所は兵庫職業能力開発促進センター（以下ポリテク兵庫）で、阪急武庫之荘駅から、バスで10分ほどです。IIW（国際溶接学会）国際溶接資格認証施設でもあり、週末は溶接技能者評価試験（JIS検定試験）会場としても利用されているとのこと、膨大な数の溶接ブースが設置されていました。



写真1 試験会場にも利用されるブース

当日は、午前中に2時間の講義を行い、昼休みを挟んで半自動溶接と被覆アーク溶接を2時間ずつの合計4時間の実技という非常にボリュームのあるスケジュール。

### 1.溶接講義

午前中は溶接法の種類に始まり実際の作業要領まで午後からの実技を意識した内容を幅広く教えていただきました。

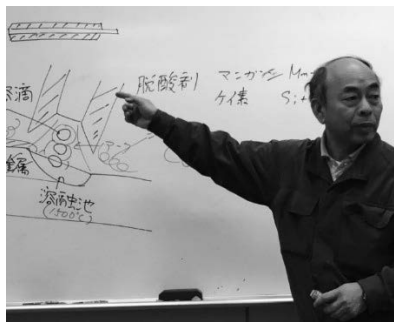


写真2 寺田講師による熱心な講義

講義は、ポリテク兵庫機械系統括職業訓練指導員の寺田昌之氏によるもので、あっという間の2時間が過ぎました。

「電流を上げると熔融速度は速くなる？遅くなる？」「溶接棒を乾燥させるのはどうして？」専門書を読めば確かに書いてある内容ですが、質問形式での体系的な説明は、非常にわかりやすい講義でした。中でも溶接棒の管理を見ただけで、工場の品質管理に対する意識が大体わかる、というアドバイスは非常に印象的でした。



写真3 当日の配布テキスト

### 2.半自動溶接

午後からはいよいよ実技です。私は、前半：半自動溶接、後半：被覆アーク溶接の班となりました。防護服の着用から溶接機のセットまで丁寧に教えていただき、いよいよ溶接開始です。



写真4 半自動溶接の実技状況

「熔融池をしっかり作ることが一番大事。」とのアドバイスのもと、いざ開始。ところがなかなか熔融池が作ることができません。挙げ句、飛び散る火花に驚き「皆さん、体をもっと近づけましょう」となる場面もありましたが、時間が経つにつれ熔融池も見えるようになり、アークが発生する感覚が徐々に体で体感できるようになりました。外観試験の合格には程遠いですが、私も何とか溶接ビードを作ることができました。



写真5 人生初の溶接

### 3.被覆アーク溶接

続いて被覆アーク溶接です。講師の実演後、「はい、それでは皆さんに溶接棒を渡すので、ご自由に試して下さい。」これには驚きました。半自動溶接よりもアークを発生させることが難しく、アークを発生させても溶接棒が熔融するスピードと、ビードを形成する動きの両方を意識する必要があり、とても苦労しました。実技では低水素系（E4316）をはじめ、何種類もの溶接棒を使用し、電流を変化させながら溶接のしやすさを確認するという体感型の実技でした。



写真6 多様な種類の溶接棒による実技

### 4.溶接体験を終えて

終了予定時刻は夕方5時でしたが、実技・質疑応答を含め、時刻は夜の7時を回ろうとしておりました。今回は溶接の実技を主にしたスケジュールでしたが、別室には様々な試験機が設置されており、試験実習も行うことが可能とのこと、参加者からは、是非また違うプログラムで参加したいとの声も聴かれました。

私は、構造設計を主の業務としているため、日常でこれだけ長時間にわたり、溶接に触れることはまずないため、非常に貴重な体験をさせていただきました。百聞は一見に如かず。これからも鉄と向き合う上で、今回の経験を大事にするとともに、熱心に指導頂いた講師の方に向けてお礼申し上げます。

## ■JSCA関西支部2018年度事業報告書

(2018年4月～2019年3月)

- 1.2018年度支部総会 0518 建設交流館 出席者61名(委任状298通)
- 2.支部幹事会 0507 1105
- 3.運営会議(旧四役会)  
0402 0507 0604 0702 0806 0910 1001 1105 1203 0107 0204 0304
- 4.事業委員会 0423 0611 0709 0820 0918 1015 1106 1210 0218 0311
- 5.技術委員会 0424 0625 0827 1022 1217 0225 0318
- 6.広報委員会 0419 0718 1017 0116
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部 0517 0719 0823 0920 1115 0117
- 8.木造住宅レビュー委員会 0404 0606 0801 0904 1003 1107 0125 0129
- 9.構造レビュー委員会 開催なし
- 10.大震研委員会  
・報告会 0602 0302  
・主査連絡会 0409 0516 0827 1011 1206 0131  
・WG活動  
WG1(地震動・基礎) 0402 0524 0328  
WG2(RC系) 0515 0717 1002 1205 0225  
WG3(S系) 0417 1002 0207  
WG4(免震構造) 0416 0514 0925 1022 1126 1217 0128
- 11.研究会・記念事業  
・定例研究会 0518 JSCA関西構造デザイン発表会2018 参加者220名  
・新年研究会 0111 JSCA賞受賞者講演 参加者109名
- 12.現場見学会  
1102 京都市本庁舎改修工事、新西庁舎、京都市分庁舎 参加者 27名  
0225 深江竹友寮建替工事 参加者 24名
- 13.研修会  
1109-1110 高松・直島(瀬戸内で建築とアートを巡る) 参加者 38名
- 14.支部報 Structure Kansai No.137,138,139,140 発行
- 15.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 0620 1005 1205 0327  
・RC分科会 0622 0912 1205 0306  
・金属系分科会 0620 0124 0306  
・情報システム分科会 0327 1023 0329  
・構造計画分科会 0713 1016 0123  
・耐震設計分科会 0720 0928 0322  
・PC・工業化分科会 0418 0928 1204 0212  
・木構造分科会 0404 0801 1205  
・法制分科会 0523 0727 0925 1204 0219  
※下線付きは拡大分科会を示す。
- 16.サテライト活動  
・京滋会 0215「建物の耐風設計のための基礎知識」講演会 参加者 33名
- 17.講習会  
・JSCA建築構造士定期講習会 0825 参加者 68名  
・木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会  
0404 0606 0801 1003 1205 参加者 計 44名  
・スキルアップセミナー 1010 参加者 20名  
・本部技術委員会・第14回報告会2018(web講習会) 1105 参加者 9名  
・本部技術委員会・第15回報告会2018(web講習会) 1210 参加者 18名  
・若手技術者育成講座 0205 参加者 17名
- 18.親睦会  
・定例研究会懇親会 0518 参加者121名  
・大震研委員会懇親会 0602 参加者 21名  
0302 参加者 12名  
・研修会懇親会(四国支部共催) 1109 参加者 52名  
・賀詞交歓会 0119 参加者116名  
・京滋会懇親会 0215 参加者 15名
- 19.研究受託  
・大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務 3件
- 20.他団体への委員・講師の派遣  
委員派遣  
・大阪市「大阪市耐震改修支援機構」 上田尚延, 山浦晋弘, 横田友行  
・京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 榎原健一, 田村佳英  
・神戸市「建築物安全安心推進協議会」 石本泰宏  
・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」 近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘  
・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之  
・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 近藤一雄, 島野幸弘, 田代靖彦, 田辺太一, 西村勝尚, 山浦晋弘  
・日本建築総合試験所「基礎技術性能認証委員会」 後藤雅夫

- ・日本建築総合試験所「コンクリート工事実務研修委員会」 上森 博
- ・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 山浦晋弘
- ・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
- ・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正
- ・兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」 山田正人
- ・大阪工業大学「専門委員会」 横田友行

### 講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 福本義之
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒, 北山宏貴
- ・大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 横田友行

### 21.関連団体との交流

- ・在阪建築関連15団体事務局会議 0912 0308
- ・在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 1106
- ・在阪建築関連15団体2019年新年交礼会 0104

## ■JSCA関西支部2019年度事業計画書(案)

(2019年4月～2020年3月)

- 1.2019年度支部総会 0522 建設交流館
- 2.支部幹事会 0513 秋頃実施予定
- 3.運営会議(旧四役会)  
0408 0513 0603 0708 0805 0902 1007 1105 1202 0106 0203 0302
- 4.事業委員会  
0422 0610 0722 0826 0930 1021 1111 1209 0217 0316
- 5.技術委員会 0408 0422 0624 0826 1028 1216 0217
- 6.広報委員会 0417 以降1回/各季 実施予定
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部 0516 以降1回/月適宜実施予定
- 8.木造住宅レビュー委員会 随時実施予定
- 9.構造レビュー委員会 随時実施予定
- 10.大震研委員会 報告会2回/年実施予定  
主査連絡会, WG活動 随時実施予定
- 11.研究会 0522 定例研究会 JSCA関西構造デザイン発表会  
2019  
建設交流館  
新年研究会 JSCA賞受賞者講演 1月実施予定  
2回/年 程度実施予定
- 12.現場見学会 1115-1116 (福山・尾道)実施予定
- 13.研修会 Structure Kansai No.141, 142, 143, 144発行予定
- 14.支部報 Structure Kansai No.141, 142, 143, 144発行予定
- 15.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 4回/年 程度実施予定  
・RC分科会 4回/年 程度実施予定  
・金属系分科会 3回/年 程度実施予定  
・情報システム分科会 4回/年 程度実施予定  
・構造計画分科会 3回/年 程度実施予定  
・耐震設計分科会 4回/年 程度実施予定  
・PC・工業化分科会 3回/年 程度実施予定  
・木構造分科会 3回/年 程度実施予定  
・法制分科会 4回/年 程度実施予定  
・拡大分科会 0612 以降 技術委員会として2回/年 程度実施予定
- 16.サテライト活動  
・奈良会 1回/年 程度実施予定  
・京滋会 1回/年 程度実施予定  
※兵庫会は「他団体への委員・講師の派遣」で記載
- 17.講習会  
・JSCA建築構造士定期講習会 8月実施予定  
・木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会  
0403 以降随時実施予定  
・スキルアップセミナー 夏頃実施予定  
・若手技術者育成講座 2月実施予定  
・本部技術委員会・報告会2019(Web講習会) 随時実施予定
- 18.親睦会  
・定例研究会懇親会 0522建設交流館  
・大震研委員会懇親会 2回/年実施予定  
・研修会懇親会 1115 実施予定  
・賀詞交歓会 1月実施予定  
・京滋会懇親会 1回/年実施予定

19. 研究受託

- 大阪建築物震災対策推進協議会 限界耐力計算レビュー委託業務 随時実施予定

20. 他団体への委員・講師の派遣

委員派遣

- 大阪市「大阪市耐震改修支援機構」 上田尚延, 山浦晋弘, 横田友行
- 京都市「京町家耐震診断レビュー委員会」 榎原健一, 田村佳英
- 神戸市「建築物安全安心推進協議会」 石本泰宏
- 日本建築総合試験所「建築構造的評価委員会」 近藤一雄, 田代靖彦, 山浦晋弘
- 日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
- 日本建築総合試験所「判定助言委員会」 上田博之, 近藤一雄, 田代靖彦, 嶋崎敦志, 榎田洋子, 松原由典
- 日本建築総合試験所「基礎技術性能認証委員会」 後藤雅夫
- 日本建築総合試験所「コンクリート工事実務研修委員会」 上森 博
- 大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 上田博之

- 大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議委員会」 横田友行
- 京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正
- 兵庫県建築士会「専攻建築士審査評議会」 山田正人
- 大阪工業大学「専門委員会」 横田友行

講師派遣

- 大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 福本義之
- 大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算)」 小倉正恒, 北山宏貴, 横田友行, 鈴木直幹
- 大阪府建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)」 横田友行

21. 関連団体との交流

- 在阪建築関連15団体事務局会議 9月, 3月頃実施予定
- 在阪建築関連15団体会長・支部長午餐会 秋頃実施予定
- 在阪建築関連15団体2020年新年交礼会 0106 実施予定

■2019年度 関西支部 体制

●幹事

- 支部長 上田博之 (竹中工務店) : 支部担当理事
- 副支部長 田代靖彦 (日建設計)
- 幹事 榎田洋子 (桃李舎)
- 上森博 (日本設計)
- 大住和正 (大林組)
- 太田原克則 (東畑建築事務所)
- 小島直樹 (清水建設)
- 島野幸弘 (竹中工務店)
- 竹島剛 (鹿島建設)
- 寺田均 (昭と設計)
- 西本信哉 (大成建設)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 細野久幸 (信和建設)
- 松浦敏彦 (ティエムアーク)
- 松原由典 (竹中工務店)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 安野郷 (鴻池組)
- 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)

- 監査 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 辻幸二 (日本建築総合試験所)

- 支部顧問 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 角彰 (日本建築総合試験所)
- 谷尾俊弘 (イオリ建築設計事務所)
- 辻英一 (安井建築設計事務所)
- 馬瀬芳知 (馬瀬構造設計事務所)
- 八木貞樹 (八木建築構造研究所)

- 本部担当理事 嶋崎敦志 (大林組)

- 事務局 秋田智 (安井建築設計事務所) 局長
- 池内邦江 (竹中工務店)
- 伊藤敦 (日建設計)
- 伊藤祥二 (大林組)
- 岩佐裕一 (日本建築総合試験所)
- 大植奈緒子 (コンステック)
- 貝谷淳一 (能勢建築構造研究所)
- 木下隆嗣 (東畑建築事務所)
- 竹内信一郎 (清水建設)
- 石原邦子 (JSCA大阪事務所)

- 危機管理委員 前野敏元 (竹中工務店) 委員長
- 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 嶋崎敦志 (大林組)

●事業委員会

- 委員長 島野幸弘 (竹中工務店)
- 委員 新居努 (大林組)
- 上森博 (日本設計)
- 小島直樹 (清水建設)
- 嘉村武浩 (日建設計)
- 西本信哉 (大成建設)
- 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 山本康一郎 (能勢建築構造研究所)

●技術委員会

- 委員長 松原由典 (竹中工務店)
- 委員 山下靖彦 (竹中工務店) ...RC
- 吉田聡 (日建設計) ...PC・工業化
- 中村吉秀 (大林組) ...金属系
- 石田大聡 (日建設計) ...耐震設計
- 山中三聡 (SDネットワーク) ...地盤系
- 篠原昌寿 (フレームワークス) ...情報システム
- 田中政寛 (山田建築構造事務所) ...構造計画
- 岸本光平 (竹中工務店) ...法制
- 上田尚延 (日本建築総合試験所) ...木構造

●広報委員会

- 委員長 大住和正 (大林組)
- 委員 荒瀬進 (大林組)
- 伊藤栄治 (安井建築設計事務所)
- 慶祐一 (竹中工務店)
- 大川正明 (鹿島建設)
- 金田興熙 (K&S構造設計事務所)
- 阪田扶佐子 (山田建築構造事務所)
- 軸丸久司 (日建設計) ...構造計画
- 田代靖彦 (日建設計)
- 橋本宗明 (北條建築構造研究所)
- 平石浩二 (イオリ建築設計事務所)
- 安野郷 (鴻池組)
- 柳澤信行 (竹中工務店)
- 山田能功 (大林組)
- 吉田聡 (日建設計)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
- 委員 石田健吾 (ヤマダホームズ)
- 上田尚延 (日本建築総合試験所)
- 大崎修 (大崎建築設計事務所)
- 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 榎原健一 (SERB)
- 北山宏貴 (大林組)
- 四宮忠明 (兵庫県住宅建築総合センター)

- 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 田村浩史 (清水建設)
- 田村佳英 (悠計画研究所)
- 鳥羽瀬公二 (鳥羽瀬社建築)
- 野島千里 (日本建築総合試験所)
- 榎田洋子 (桃李舎)

●大震研委員会

- 委員長 西村勝尚 (摂南大学)
- 委員 園田隆一 (安井建築設計事務所) ...WG1
- 上田博之 (竹中工務店) ...WG2
- 福本義之 (大林組) ...WG3
- 大住和正 (大林組) ...WG4

●定期講習WG

- WG長 鈴木直幹 (竹中工務店)
- 委員 嶋崎敦志 (大林組)
- 白沢吉衛 (日建設計)

●耐震診断委員会関西西部会/構造レビュー委員会

- 部会長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
- 副部会長 宮崎英也 (山田建築構造事務所)
- 委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 浦巽利男 (うらたつみ建築技研)
- 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 榎原健一 (SERB)
- 日下哲 (日本建築総合試験所)
- 近藤一雄 (東畑建築事務所)
- 嶋崎敦志 (大林組)
- 田代靖彦 (日建設計)
- 辻幸二 (日本建築総合試験所)
- 前野敏元 (竹中工務店)
- 横田友行 (能勢建築構造研究所)

●編集委員会関西西部会

- 部会長 白沢吉衛 (日建設計)
- 委員 秋田智 (安井建築設計事務所)
- 新井康輔 (能勢建築構造研究所)
- 阿波野昌幸 (近畿大学)
- 大堀太志 (竹中工務店)
- 小倉正恒 (日本建築総合試験所)
- 田邊太一 (大手前大学)
- 田村浩史 (清水建設)
- 西本信哉 (大成建設)
- 福本義之 (大林組)

●国際委員会(本部)

- 委員 嶋崎敦志 (大林組)



## ●事務局だより

### 1.2019年度支部総会

日時:5月22日(水) 建設交流館  
出席者197名(委任状145通)

### 2.支部幹事会

日時:5月13日(月)

### 3.運営会議

日時:4月8日(月)18:00~19:30  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
日時:5月13日(月)18:00~19:30  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
日時:6月3日(月)予定18:00~  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局

### 4.事業委員会

日時:4月22日(月)18:00~19:30  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
内容:現場見学会・研修会の企画会議他  
日時:6月10日(月)18:00~19:30  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
内容:現場見学会・研修会の企画会議他

### 5.技術委員会

日時:3月18日(月)18:00~20:00  
場所:竹中工務店B1階  
T'sイノベーションサロン  
内容:JSCA法人化30周年関西支部企画2  
日時:4月8日(月)18:30~20:00  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
内容:JSCA法人化30周年関西支部企画3  
日時:4月22日(月)18:00~20:00  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局、  
B1階会議室  
内容:各分科会活動報告・地盤系&耐震  
拡大分科会、関西デザイン発表会  
2019企画、JSCA法人化30周年  
関西支部企画4  
日時:6月24日(月)予定18:00~20:00  
場所:安田ビル2階JSCA関西事務局  
内容:各分科会活動報告・本部技術  
委員会と運営会議の報告、JSCA  
法人化30周年関西支部企画5

### 6.広報委員会

日時:4月17日(水)18:00~19:00  
場所:大林組6階会議室  
内容:Structure Kansai  
NO.142号 編集会議  
NO.143号 企画会議  
日時:7月17日(水)予定18:00~19:00  
場所:大林組6階会議室  
内容:Structure Kansai  
NO.143号 編集会議  
NO.144号 企画会議

### 7.木造住宅レビュー委員会

日時:4月3日(水)13:30~18:00  
場所:安田ビルB1階会議室  
内容:木造耐震設計法がマスターできる  
実務講習会  
日時:6月5日(水)予定13:30~18:00  
場所:安田ビルB1会議室  
内容:木造耐震設計法がマスターできる  
実務講習会  
日時:6月5日(水)予定18:00~19:00  
場所:安田ビルB1会議室  
内容:マニュアル第7部について

### 8.大震研委員会

#### ○報告会

日時:3月2日(土)14:00~17:30

場所:御堂ビル いちようホール  
出席者64名  
内容:長周期地震動に対する試設計

#### ○主査連絡会

日時:5月8日(水)18:30~19:30  
場所:安田ビルB1階会議室  
内容:今後の進め方

#### 9.研究会・記念事業

##### ○定例研究会

日時:5月22日(水)  
内容:JSCA関西構造デザイン発表会2019  
場所:建設交流館グリーンホール  
出席者244名

#### 10.支部報

Structure Kansai  
No.141(2019.4)発行  
No.142(2019.7)発行予定

#### 11.技術委員会各分科会

##### ○地盤系分科会

日時:3月27日(水)18:00~20:00  
場所:コンステック会議室  
内容:既製杭の新認定工法『MAGNUM  
工法』、「設計用入力地震動の作成  
方法」について  
日時:6月12日(水)予定16:00~18:00  
場所:コンステック会議室  
内容:基礎構造設計指針の改定と関連  
した基礎の耐震設計について

##### ○RC分科会

日時:3月6日(水)18:00~19:30  
出席者19名  
場所:安田ビルB1階会議室  
内容:構造計算適合性判定について・  
技術委員会報告など  
日時:4月16日(火)18:00~20:00  
出席者17名  
場所:安田ビルB1階会議室  
内容:RC規準2018の勉強会

##### ○金属系分科会

日時:3月6日(水)10:00~19:00  
出席者11名  
場所:ポリテクセンター兵庫  
内容:溶接体験実習

##### ○情報システム分科会 活動なし

##### ○構造計画分科会

日時:4月12日(金)18:00~19:00  
場所:竹中工務店B1階  
T'sイノベーションサロン  
内容:「盲導犬用ハンドルの構造デザイン  
について」

##### ○耐震設計分科会

日時:3月22日(金)15:30~17:30  
出席者5名  
場所:京都市本庁舎  
内容:現場見学(居ながら免震改修工事)  
日時:6月12日(水)予定16:00~18:00  
場所:コンステック会議室  
内容:基礎構造設計指針の改定と関連  
した基礎の耐震設計について

##### ○PC・工業化分科会

日時:7月2日(火)予定14:30~16:30  
場所:建研 水口工場  
内容:PC工場見学

##### ○木構造分科会

日時:4月3日(水)17:00~19:40  
場所:安田ビル地下1階会議室

出席者20名

内容:大阪府内の木造住宅耐震改修  
事例報告、JSCA関西マニュアルの  
補足説明

#### ○法制分科会

日時:4月29日(月)15:00~17:00  
場所:安井建築設計事務所2階会議室  
出席者6名  
内容:本部法制委員会との交流会、建  
築生産における建築法制度の現  
況と今後を考える(AIJ)、法人化  
30周年企画案 などについて意見  
交換  
日時:6月21日(金)予定15:00~  
場所:安井建築設計事務所2階会議室  
内容:建築法制に関する最新情報紹介と  
意見交換

※下線付きは拡大分科会を示す。

#### 12.講習会

##### ○木造軸組構法の新しい耐震設計法が マスターできる実務講習会

日時:4月3日(水) 参加者6名  
日時:6月5日(水) 予定13:30~

##### ○新しい業務報酬基準DVD講習会

日時:5月31(金)、6月4日(火)、  
6月6日(木)計3回開催予定

#### 14.親睦会

日時:5月22日(水)定例研究会懇親会  
参加者 121名



遂に『建築構造用語事典II』を発行  
します!!皆様のご協力により初巻発行15  
周年の節目に出版できたことに感謝します。  
ぜひ活用ください。

#### ●編集後記

ご多忙中、貴重な原稿を執筆頂いた皆様  
方に厚くお礼申し上げます。(柳澤、荒瀬)

発行 (一社)日本建築構造技術者協会  
関西支部事務局

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-8-31(安田ビル)

Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL http://jscakansai.com/